

鹿児島地本だより

Kagoshima Provincial Cooperation News

第37号



この度、平成30年3月30日付で、第8代(地方連絡部長を含めると第34代)自衛隊鹿児島地方協力本部長に就任した高岩です。

福岡県福岡市出身、職種特技は水上艦艇(掃海)です。今回、初めての鹿児島勤務となります。この鹿児島では、海上自衛隊主要部隊は鹿屋に唯一航空部隊が存在するため、私のように水上艦艇マシンの者にとっては、地本が唯鹿児島で勤務できる配置となります。この極めてレアな配置である鹿児島地本長として勤務できる機会を得ることができ、大変嬉しくかつ光栄に思っています。

着任以来、約3か月が経過しましたが、まずは、防衛協会、家族会、隊友会、地本後援会をはじめ、各協力団体等及び地域の皆様におかれましては、平素から防衛省・自衛隊の活動並びに自衛隊鹿児島地方協力本部の業務に対して、深いご理解と絶大なご支援を賜り、鹿児島地方協力本部を代表し、改めて厚く御礼を申し上げます。鹿児島地本は引き続き「地域の皆様と防衛省・自衛隊との架け橋」として、また、地元のことをよく知る、まさに「我が国防衛のフロントライン」、即ち「運用の第二線」として、一生懸命、誠心誠意、勤務に邁進していく

所存です。

さて、今年、明治維新から150年の節目の年であり、鹿児島の先人達は、日本の良さを節しながら世界の優れた知識・技術・制度を取り入れて日本を近代国家へ変革させる中心となり活躍しました。わが国のみならず、国内外での災害等への対応や国際平和のための活動を任務としている自衛隊に、このような偉大な先輩を持つ鹿児島県出身者が、全国でも6番目に多く自衛官として勤務しており、いかなる事態においても国民の安全と安心を守るべく様々な課題に取り組んでいます。

自衛隊は、国民の皆様の信頼を得て、「最後の砦」、「最後の拠り所」として、迅速的確かつ最大限に能力を発揮できるように体制を整備していきます。そして、その人的基盤となる質の高い人材を確保することが必須条件であります。

自衛隊と地域社会を繋ぐ地方協力本部は、適質な自衛官の募集、採用をはじめ、在職中安心して職務に精進できるよう退職自衛官の就職の援助及び即応予備自衛官等の確保と管理など、まさに自衛官の生を支える任務を担っています。

そのような中、少子化・高齢化と景気回復の影響を受ける現況下での募集活動は、より一層の困難が予想されます。募集相談員をはじめとする地域の皆様の「層」の協力をお願いします。

退職自衛官の就職の援助につきましても、退職される全ての隊員の再就職を実現すべく、自衛隊援護協会や各協力団体等のご支援を得て、企業の新規開拓を図りたいと考えています。

また、これらと並行して、即応予備自衛官、予備自衛官及び予備自衛官補の募集並びに招集訓練への出頭についても、企業主等の皆様のご協力もご促進を図っていく所存です。

鹿児島県民の皆様には、防衛省・自衛隊と鹿児島地本の置かれた厳しい状況をご理解の上、今後とも変わらぬご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、改めて日頃の皆様のご理解とご支援に深く感謝致しますとともに、鹿児島地本は、総員が一丸となつて、積極的かつ意欲的に業務を推進していくことを決意し、着任の挨拶とさせていただきます。

発行元
自衛隊
鹿児島地方協力本部

印刷所
㈱プリンティング三州

平成30年度募集・援護出陣式 募集課



全員で「チェスト！」

自衛隊鹿児島地方協力本部は、4月23日(月)、「平成30年度募集・援護出陣式」を挙りました。本目的は、平成30年度の本格的な募集・援護業務の開始にあたり、当該業務における目標の達成及び安全を祈願するとともに、地方協力本部全員の士気の高揚及び団結の強化を図るものです。

出陣式には、自衛隊鹿児島地方協力本部後援会会長 谷川洋造様、副会長 伊藤正夫様、同じく、村山文彦様、事務局長 有村長歳様に御臨席を承り、過分なお祝辞を頂き、地方協力本部員一同、更に身を引き締まりました。

本部長は式辞で、「地本は実戦部隊であり、結果こそ問われるのがまさに地本の宿命である。その目標の達成に向け、募集課及び援護課が中核となり、地本総員がそれぞれに知恵を出して創意工夫を図るとともに、緊密に連携して情報共有に努め、総員一丸となつて汗を流して邁進してもらいたい。」と鹿児島地本員に対し、要望を述べました。

出陣式の最後は、各事務所等長が平成30年度募集・援護の目標の達成に向けて熱意ある抱負を述べ、全員で「チェスト！」と士気高く拳を突き上げ、捲土重来を誓いました。

鹿児島県自衛隊広報大使プロジェクト始動!!

広報企画室
広報班



自衛隊鹿児島地方協力本部は、6月4日(月)、自衛隊鹿児島地方協力本部(鹿児島第2合同庁舎)において、「平成30年度鹿児島県自衛隊広報大使委嘱式」を実施しました。

現在、自衛隊PRするための広報大使を委嘱している地方協力本部は全国でも掘り(約4箇所)ですが、採用している地方協力本部としては、1日のホームページの記事掲載が飛躍的に増えるほどの広報効果があったとの報告があり、鹿児島での情報発信能力が弱いことを広報班長(1等海尉 堀部 雄一郎)は打破するため是非鹿児島においても採用しようとして今年度から企画し、ようやく実現したものであります。

鹿児島地方協力本部が委嘱した「鹿児島県自衛隊広報大使」の目的は、情報発信能力の強化です。そのための全国で初めて2名の方を同時に委嘱させて頂きました。鹿児島県での自衛隊の広報大使の初役に選ばれたのは、タレントの「中島身依(なかしんい)さん(みえ)さん(株式会社 清友所屬)」と、シガーソングライターの「Hiro(ひろ)さん」です。両名とも鹿児島市の出身であり、県内各地のイベントで活躍されている、鹿児島県民の皆様への広報には最適であると感じております。

「中島身依」さんは、今年度からMFMの毎週水曜レギュラーパーソナリティーであり、県内各地でのMCをこなしており、モデル業では「ミスライオンモデルランプリ2016」で全国ファイナリスト(鹿児島県代表)ランプリの活躍をしています。

「Hiro」さんは、MFMラジオに月に1回土曜レギュラー出演しており、県内各地でのイベントや明治150周年イベントでのライブ活動を行い、本年は、西日本高速道路サービスホールディングス株式会社 ミニエ参加者として、ランプリを獲得して、「西郷社」の第2婦人を探して活躍しています。

このように、既に鹿児島において活躍されているお二人ですが、今後は「鹿児島県自衛隊広報大使」として、各広報イベントや、鹿児島県内の自衛隊基地祭、駐地地記念行事に参加して頂いたり、各出演ラジオやSNSにて次回参加予定の自衛隊イベントの告知等を実施して頂き、自衛隊鹿児島地方協力本部の弱点である情報発信能力の強化において多大な期待をしております。

両名とも、「自衛隊に対しては専門知識はありませんが、女性目線において、自衛隊を肌で感じたいという情報発信していきます」と、抱負を述べて頂きました。当然ながら、自衛隊鹿児島地方協力本部もお二人の活動を強力にサポートして参ります。また、近所で見かけたり手探りではありますが、もし、皆様の近所で見かけた場合は、暖かいお声掛けをお願いします。今年度から、自衛隊鹿児島地方協力本部は更なる活動改革を行い、「明るく、元気に、前向きに」業務に向き合っていきます!

※「鹿児島地本」は、「自衛隊鹿児島地方協力本部」の略称です。

鹿児島県総合防災訓練に参加

自衛隊鹿児島地方協力本部は、5月27日(日)、鹿児島県指宿市で実施された「平成30年度鹿児島県総合防災訓練」に参加しました。前日に梅雨入りし、天候も心配されましたが、当日は雲ひかない快晴の下で開催されました。

本訓練は「種子島東方沖で大地震が発生し、鹿児島県西部に大津波警報が発表される」とともに、薩摩・大隅地方に大雨・洪水警報が発表され、大規模な山崩れ、がけ崩れなどへの嚴重な警戒が必要な状況である。なお、多数の負傷者と要救助現場が発生している。」という訓練想定のもと、陸・海・空自衛隊を含む79機関1500名の参加により実施されました。

訓練では、陸・海・空自衛隊が高い機動力と組織力を十二分に発揮し、自衛隊の存在感を見せるとともに、各関係機関との連携の強化を図り、災害時における役割を再確認しました。

自衛隊鹿児島地方協力本部は、「防災意識啓発訓練」として、耶馬溪の山崩れにおける災害派遣活動等に係るパネルや装備品(軽装甲機動車)の展示を実施し、



災害派遣活動等に係るパネル展示の様子
三反園県知事への説明の様子

訓練参加者及び地域住民等に対して、自衛隊の自然災害への対応について広く周知するとともに、防災意識の高揚を図りました。

自衛隊鹿児島地方協力本部は、自衛隊の活動や取組に対して、県民に理解と認識を深めていただき、今後の活動や募集等を円滑に取り組めるよう、今後も各種防災訓練等に参加し、各種関係団体と更なる連携の強化を図って活動を実施していく所存であります。

陸士就職補導教育を支援

自衛隊鹿児島地方協力本部は、5月24日(木)、国分駐屯地において実施された陸士就職補導教育の一環として予備自衛官等制度の普及教育を実施しました。

当日は、平成30年度末に退職を予定している任期制隊員等16名に対して、予備自衛官等制度の概要を説明した後、東日本大震災や熊本地震における予備自衛官等の活躍を紹介するとともに、同制度の重要性を教育し、予備自衛官等への志願を促進しました。

教育後のアンケートでは、これから本格的な再就職活動が始まることもあり、志願の意欲は「まだ決めていない」との回答が多数でありましたが、反面、「予備自衛官等制度に興味を持った」との回答も多数あり、中には予備



陸士就職補導教育の様子

護 鹿児島市防衛協会定期総会を支援

自衛隊鹿児島地方協力本部は、5月23日(木)、鹿児島県2地方合同庁舎(鹿児島市)において実施された鹿児島市防衛協会(会長 谷川洋造 氏)の定期総会を支援しました。

鹿児島市防衛協会は、「我が国の防衛に関する認識を深め、自衛隊の健全なる育成発展に協力し、ひいては地域社会の平和と発展を図る。」ことを目的として、昭和40年4月に「鹿児島防衛協力会」として発足、平成17年5月に現在の名称へ改称し現在に至っており、会員数・法人97社、個人56名で構成され、退職自衛官の再就職にも多大な協力を得ている団体です。

当日は、谷川会長以下、45名の会員(法人・個人)が参加し、来賓の自衛隊援護協会福岡支部末廣治之支部長から挨拶をいただいた後、議事に基づき各議案を審



鹿児島市防衛協会総会
総会の様子



高岩本部長による防衛講話の様子

議され、総員の異議なく総会を終了しました。

定期総会終了後、引き続き、高岩本部長による「機雷戦の概要、掃海隊群の改編と今、両用戦への対応」について防衛講話を実施、参加の皆様は熱心に耳を傾けられ、あらためて、防衛に対する関心の高さを認識しました。



公民館にてポスター提示(福丸会長)

自衛隊鹿児島地方協力本部は、今後もあらゆる機会を通じ、各協力団体と連携を図り、自衛隊に対する更なる理解と協力を求め、自衛官募集及び退職予定隊員の雇用拡大につなげていきたいと思

地域事務所 国分事務 新しい地域担当となつて (木藤一曹)

国分地域事務所広報官の木藤一海曹です。広報官として平成24年3月から勤務し、7年目となります。今年度、担当地域の見直しにより、新しい地域を担当することとなりました。早速、自衛隊をアピールして、新担当地域に自衛隊を根付かせるために、ポスター掲示に協力してくれる所を探しました。福丸務局市溝辺家族会長の協力の下、各地区の公民館、飲食店、美容室など、多くの場所に掲示する事が出来ました。現在も掲示場所の提供に努めてくれており、協力団体である家族会の皆様の有難いご支援に感謝している毎日です。

募集状況も厳しさを増し、苦戦が続く中、国分地域事務所も目標を達成できていない種目があります。先日行われた地本長会議に出席した際に、西部方面總監が「目標を達成できないことは与えられた任務を達成できてないということだ。」という言葉に、何かを言い訳にして任務を遂行できてなかった自分に気づきました。

新しい対策を練り、計画・実行して任務達成できるように国分地域事務所丸となつて、頑張っていきたいと思



職場体験学習で自衛隊の説明会を実施

鹿屋地域事務所

鹿屋地域事務所は、5月23日(水)に海上自衛隊鹿屋航空基地で実施された、職場体験学習で鹿屋東中学校9名・大始良中学校7名・上小原中学校2名に対して自衛隊の説明会を実施しました。

鹿屋地域事務所は、本学習のカリキュラムの一環として、約45分間自衛隊の説明を行い、陸海空自衛隊の任務・職種・入隊方法などを紹介しました。生徒達は、目を輝かせながら聞いてくれていました。

鹿屋航空基地での職場体験学習では、体験喫食(海自カレー)、航空機見学、管制塔見学、整備作業の体験、体力測定体験、基本教練体験、庁舎の見学などを多種多様なカリキュラムを計画し、実施しており、生徒達にとっても魅力的な体験学習になったと思います。

生徒達からは、「自衛隊は厳しい人ばかりだと思っていましたが、目を輝かせながら仕事していました。」「職場が笑顔で一杯でした。」「走っ



鹿屋地域事務所長による自衛隊の説明の様子

[参考] (<http://www.mod.go.jp/msdf/kanoya/>)

てばかりだと思っていました。色んな仕事があることが分かりました。」「など、自衛隊の新しいイメージを持つてくれたと感じました。

鹿屋地域事務所は、少しでも多くの生徒に自衛隊に興味を持ってもらえるように、今後も鹿屋航空基地と連携し、職場体験学習を行っていく予定です。

鹿屋航空基地では、月に2回程度、休日に基地見学を実施しています。

音楽で自衛隊を知る

国分地域事務所

国分地域事務所は、5月12日(土)に実施された鹿児島県立加治木工業高校での海上自衛隊佐世保音楽隊の演奏教室を支援しました。

今回初めて同校で演奏教室を実施した理由は、近年、運動部(弓道)は全国レベルで活躍しているものの、文化部(吹奏楽部)の歴史が浅いため、演奏教室の実施が役立つのではないかと考えたからです。当日は、夏を思わせる暑さとなりましたが、21名の部員とともに、この演奏教室の開催を聞いて是非参加したいとのこと、県内の吹奏楽部の中学生3名も加わり、24名での演奏教室が始まりました。

佐世保音楽隊27名と加治木工業高校生及び中学生24名が部室に入りまは、それぞれの挨拶、そして流れについて説明がありました。生徒達は初めて海上自衛官と接する人が多く、やや緊張した様子でしたが、それぞれの担当楽器ごと各教室で音楽指



相互に挨拶を交わす様子



演奏教室の様子

導が始まると、和やかな雰囲気でもいろんな場所が多くの人達に感動や夢を与えてくれました。今回も音楽の素晴らしさと自衛隊の素晴らしさを生徒たちに広報してくれました。佐世保からの移動で疲労の中、笑顔で生徒達と接して楽しい音楽を教えてくれた海上自衛隊佐世保音楽隊に感謝しながら、生徒達と見送りました。所長以下一同同校からの自衛官志願者がこれまで以上に多くなるよう、募集活動に邁進することを決意しました。

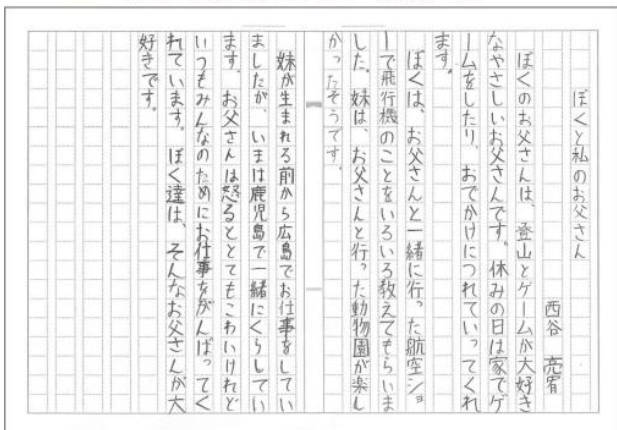
音楽隊の素晴らしさは、これまでもいろんな場所で多くの生徒に感動や夢を与えてくれました。今回も音楽の素晴らしさと自衛隊の素晴らしさを生徒たちに広報してくれました。佐世保からの移動で疲労の中、笑顔で生徒達と接して楽しい音楽を教えてくれた海上自衛隊佐世保音楽隊に感謝しながら、生徒達と見送りました。所長以下一同同校からの自衛官志願者がこれまで以上に多くなるよう、募集活動に邁進することを決意しました。

ぼく、わたしのお父さん

父：西谷 2 曹(広報企画室)

(かつひろ)

作文：長男(小5) 西谷 亮宥くん



《作文》



《お父さんの似顔絵》
(ほのか)
長女(小3) 西谷 帆加さん



《子供たちの写真》

川内援護センターの紹介

川内援護センター

川内援護センターは、薩摩川内、いちき串木野、出水、阿久根の4市、さつま、長島の2町における退職者の就職援助を任務としており、現在センター長、川内駐屯地援護室長、援護係、臨時勤務隊員の4名で勤務しています。3月に臨時勤務隊員を受け入れ、異動でセンター長が交代し、4月に期間業務隊員の援護係としての採用でメンバーが一新しました。また来年度は、ベテランの駐屯地援護室長が定年退職を迎えることになり、交代が予想されます。北薩地域の4市2町内は就職可能な企業数が少なく、給与水準もやや低く、雇用協会員数も年々減少傾向にあるため、退職者の就職援助は厳しい環境にあります。このため、援護を希望する退職者に対し、厳しい雇用情勢について繰り返し説明して理解を求め、退職後の人生設計について助言するとともに、川内援護センター管轄外地域で就職を希望する退職者につい



川内援護センター集合写真

ては、他の援護センター等と連携して情報の共有に努め、いずれにおいても援護を受ける退職者が退職する日までに就職先を決定できるよう努めています。これからも退職者のためにサービス精神に徹し、部内外各関係者との良好な信頼関係に基づき「マッチング100%、適職に全員就職」を目標に一致団結して取り組む所存です。川内援護センターをよろしくお願ひします。

平成30年上半期 鹿児島地本写真集



① 1月12日
桜島火山噴発総合防災訓練
(鹿児島市 桜島岩谷グラウンド)



② 1月26日・28日
陸自第8師団第8音楽隊鹿児島演奏会
(26日：種子島、28日：鹿久島)



③ 2月15日
輸送艦「おおすみ」艦艇広報
(志布志市)



④ 3月3日
P-3C体験搭乗(奄美市)



⑤ 3月13日
ミサイル艦「しらたか」艦艇広報
(鹿児島市)



⑥ 4月25日
掃海艦「ひらしま」艦艇広報
(鹿児島市)



⑦ 4月28日~29日
掃海艦「うくしま」艦艇広報
(志布志お祭り連 志布志市)



⑧ 5月3日~4日
天文観わくわくワーク
(鹿児島市)



⑨ 5月12日
加志木工業高校で佐世保育音楽隊演奏会
(給良市)



⑩ 5月27日
多用途支援艦「あまくさ」艦艇広報
(鹿児島市)



⑪ 6月3日
がんばる商店街フェスタ
(鹿児島市)



⑫ 6月3日
山川みなと祭り(指宿市)



⑬ 6月13日
東京音楽隊演奏会
(鹿児島市)



⑭ 6月24日
陸自CH-47体験搭乗
(鹿児島市・薩島市・薩摩川内市)

本部及び各事務所 お問い合わせ先

本部	郵便番号	住所	電話番号
自衛隊鹿児島地方協力本部	890-8541	鹿児島市東元町4番1号 鹿児島第2地方合同庁舎内	099-253-8920 (代表)
事務所名	郵便番号	住所	電話番号
鹿児島募集案内所	890-0045	鹿児島市武1-10-15 田中ビル2F	099-251-7802
知覧分駐所	897-0302	南九州市知覧町第2624 南九州市役所内	0993-83-1811
薩摩川内出張所	895-0024	薩摩川内市島追町5-1 ヤマトビル2F	0996-22-2401
国分地域事務所	899-4332	霧島市国分中央 6-1-5	0995-45-1836
鹿屋地域事務所	893-0064	鹿屋市西原 4-5-1 鹿屋合同庁舎内	0994-42-4386
大隅地域事務所	899-8102	曾於市大隅町岩川 6491-2 大隅合同庁舎内	099-482-1405
奄美大島駐在員事務所	894-0023	奄美市名瀬永田町17-3 鹿児島大島支庁別館2F	0997-53-9103
種子島駐在員事務所	891-3101	西之表市西之表 16314-6 種子島合同庁舎内	0997-23-0299
徳之島駐在員事務所	891-7101	大島郡徳之島町竜津 553-1 徳之島合同庁舎内	0997-83-3080

平成30年度自衛官等募集案内

採用種目	受付期間	試験日	応募資格
自衛官候補生	年間を通じて 第3回：7月1日~9月7日 第4回：10月9日~11月2日	第3回：9月18日~22日 第4回：11月24日(予定)	18歳以上27歳未満の者
一般曹候補生	7月1日~9月7日	1次試験：9月22日	18歳以上27歳未満の者
航空学生	7月1日~9月7日	1次試験：9月17日	高卒(見込含) 海上：18歳以上23歳未満の者 航空：18歳以上21歳未満の者
防衛大学校学生	推薦・総合選抜：9月5日~7日 一般：9月5日~28日	推薦：9月22・23日 総合選抜：1次試験 9月22日 1次試験：11月3・4日	高卒(見込含) 18歳以上21歳未満の者
防衛医科大学校医学科学生	9月5日~28日	1次試験：10月27・28日	高卒(見込含) 18歳以上21歳未満の者
防衛医科大学校看護学科学生	9月5日~28日	1次試験：10月20日	高卒(見込含) 18歳以上21歳未満の者
高等工学校校生	推薦：11月1日~11月30日 一般：11月1日~31年1月7日	31年1月5日~7日 1次試験：31年1月19日	男子で中卒(見込含) 17歳未満の成績優秀かつ生徒 会活動等に顕著な実績を修め、 学校長が推薦できる者 男子で中卒(見込含) 17歳未満の者

人事往來紹介

転出者

事務官
北崎 純也
総務課から沖繩地方協力本部(那覇)へ
池上 智志
総務課から那覇駐屯地業務隊(那覇)へ
募集課から鹿児島地方協力本部(米子)へ
和田 哲郎
操縦課から広島地方協力本部(海田市)へ
寺澤 亮太
広報企画室から相模駐屯地業務隊(相模)へ

自衛官
1等海佐 敷嶋 章
本部から第15航空隊司令部(那覇)へ
2等陸佐 濱津 英明
広報企画室から西原合同庁舎(徳島)へ
1等陸尉 田之上 英一郎
川内操縦センター長から第15航空隊司令部(那覇)へ
陸曹長 岡元 高次
鹿児島募集案内所から高等工学校(武山)へ
1等海曹 長崎 一成
鹿児島募集案内所から第211教育航空隊(鹿屋)へ
1等陸曹 橋口 光利
総務課から第364会計隊地域派遣隊(都城)へ
1等空曹 堀川 拡
薩摩川内出張所から新田中業務隊(新田原)へ
1等海曹 村方 裕二
広報企画室から第1航空隊司令部(鹿屋)へ
2等海曹 村方 裕二
知覧分駐所から第5整備補給隊(那覇)へ
2等陸曹 濱田 美保
総務課から補給統制本部(十栗)へ

転入者

自衛官
1等海佐 高岩 俊弘
大東地方駐屯地業務隊長(次)から本部へ
①福岡隊②トランプ、入船給金
③鹿児島を愛します。

1等陸曹 中野 美博
第8師団大隊(川内)から鹿児島募集案内所へ
①鹿児島隊②ドライブ、温泉
③明るく、元気で、思い切った業務を任せてほしいと思います。

転入者

2等陸佐 小川 誠
第1高射科団(東千歳)から広報企画室長へ
①鹿児島隊②美術、博物館巡り
③自衛隊に入隊以来、初めて故郷鹿児島での勤務となります。
地本の任務遂行に全力をもって邁進します。

2等陸佐 柳井 新一郎
九州補給隊(自衛隊)から川内操縦センター長へ
①福岡隊②旅行
③勤務30年目にして初めての地本勤務になりますが、よろしくお願ひします。

1等空尉 上迫 俊作
第4群隊(岐阜)から大隅地域事務所長へ
①鹿児島隊②サイクリング
③勤務30年目にして初めて、目標達成に全力を尽くします。

1等海尉 畑中 芳樹
第81航空隊(岩国)から鹿屋地域事務所長へ
①鹿児島隊②映画鑑賞、ドライブ
③全力で頑張ります。

2等陸尉 迫口 直也
第4普通科連隊(高松)から鹿児島募集案内所長へ
①鹿児島隊②サッカー、ジョギング、筋トレ
③人的防衛意識強化のため Do my best

准陸尉 永重 哲雄
第8方面通信群(徳島)から国分地域事務所へ
①鹿児島隊②釣り、ゴルフ
③初めての鹿児島及び地本勤務です。
人との出会いを大切に頑張ります！

陸曹長 猿渡 裕
第12普通科連隊(国分)から総務課へ
①宮崎隊②登山
③何事にもコツコツと地道に頑張ります！

1等陸曹 田中 賢二郎
第364会計隊(川内)から
①鹿児島隊②ゴルフ
③2回目の勤務ですが、初めの気持ちで頑張ります。

1等陸曹 西谷 洋造
潜水艦(大津)から広報企画室へ
①鹿児島隊②釣り、読書
③トランプ、ツウリング、料理、読書、ゲーム(マクア)
④コツコツ頑張ります。

出身地(都道府県) ②趣味 ③何か一言(抱負など)

1等陸曹 田畑 正則
第12普通科連隊(国分)から鹿児島募集案内所へ
①鹿児島隊②軽乗物、ボート、日帰り温泉
③感謝の気持ちをお忘れず、真心をもって頑張ります。

1等陸曹 福富 純也
第12普通科連隊(国分)から鹿児島募集案内所へ
①鹿児島隊②温泉巡り
③本業を飽やさず前向きに一生懸命頑張ります。

1等陸曹 平田 成人
第12普通科連隊(国分)から総務課へ
①鹿児島隊②ランニング、野球観戦、家族旅行
③本業を飽やさず前向きに一生懸命頑張ります。

2等海曹 田淵 憲二
鹿児島音楽測定所(福山)から薩摩川内出張所へ
①鹿児島隊②ゴルフ
③本分を尽くし頑張りますのでご指導宜しくお願いします。

2等海曹 田中 秀亨
第1航空隊司令部(鹿屋)から鹿児島募集案内所へ
①鹿児島隊②筋トレ
③早く1人前の機長マンになれるよう頑張ります。

2等海曹 仮屋 園学
鹿児島音楽測定所(福山)から鹿屋地域事務所へ
①鹿児島隊②料理、和太鼓
③初めての地本勤務、人との出会いと絆を大切に、相手の喜びが自分の喜びの気持ちで頑張ります。

2等空曹 横江 大典
飛行教育航空隊(新田原)から薩摩川内出張所へ
①鹿児島隊②サーフィン、読書
③各所、つながりを大事に精進します。
宜しくお願いします。

2等陸曹 有村 愛
第51普通科連隊(那覇)から国分地域事務所へ
①宮崎隊②書道、バレーボール
③心強い先輩(師長)と仲間(隊員)とで頑張りたいと思います。
宜しくお願いします。

2等海曹 西谷 洋造
潜水艦(大津)から広報企画室へ
①鹿児島隊②釣り、読書
③トランプ、ツウリング、料理、読書、ゲーム(マクア)
④コツコツ頑張ります。

事務官等

中元 洋二
潜水医学実験隊(横須賀)から副部長へ
①鹿児島隊②スポーツ観戦、フットサル、読書
③32年振りの鹿児島勤務です。
目標達成の為、情熱を持って勤務して参ります。

馬場 龍児
沖繩地方協力本部(那覇)から総務課長へ
①福岡隊②ゴルフ、温泉巡り
③IT関連のITのりとAIが好き、楽しく、前向きに頑張ります。

田中 聖一
那覇駐屯地業務隊(那覇)から総務課管理班長へ
①福岡隊②読書
③各課等の業務理解等のため、向上に努めますので、
困った事があれば連絡して下さい。

中川 成人
国分駐屯地業務隊(国分)から大隅地域事務所へ
①鹿児島隊②釣り
③元気に明るく前向きに頑張ります。

川辺 憲祐
地理情報隊(東立川)から募集課へ
①鹿児島隊②読書、旅行
③募集活動に汗を流す事を再席に実施し、また、
募集手段の拡大に努めます。

山内 尚登
2等陸曹(那覇)から奄美大島駐在員事務所へ
国分駐屯地業務隊(国分)から
①鹿児島隊②大船乗組
③より良い駐屯地施設に向け日々努力します。

久米村 潤(新規採用)
広報企画室
①鹿児島隊②四季に楽しめること
③自衛隊生活がスタートから、毎日充実していると思います。
ご指導の程をよろしくお願ひします。

期間業務隊員

有村 理恵(新規採用)
(鹿児島募集案内所)
①鹿児島隊②サッカー観戦
③一期一会、今を大切に！！

小田原奈津子(新規採用)
(川内操縦センター)
①鹿児島隊②映画鑑賞
③早く仕事を覚えよう頑張りますので、
ご指導のほどよろしくお願ひします。

楠木谷美穂 前川 夏美 橋口 光義
(操縦課) (鹿屋地域事務所) (大隅地域事務所)

岩切 昭彦 山田 哲朗 井上さやか
(知覧分駐所) (鹿児島募集案内所) (鹿児島募集案内所)

池水 五馬 年神 景子 國崎 圭
(国分駐屯地センター) (国分駐屯地センター) (広報企画室)

配置換

陸曹長 鶴野 親房
薩摩川内出張所から募集課へ
1等陸曹 井野 博恭
国分地域事務所から薩摩川内出張所へ
1等陸曹 月野 裕男
募集課から種子島駐在員事務所へ
2等陸曹 横山 裕也
総務課本部から総務課管理班へ
2等陸曹 中野 国治
種子島駐在員事務所から募集課へ

退職者

30.3.31 重信 弘 副部長(防衛事務官)
30.3.31 柿内 正人 退職時：3等空佐
30.6.15 今村 隆剛 退職時：准陸尉